

共同教育学部 学校教育教員養成課程 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

本学部は4系13分野（教育・教育心理・特別支援教育・国語・社会・英語・数学・理科・技術・音楽・美術・保健体育・家政）から構成されています。群馬大学との共同教育学部であり、卒業単位のうち一部の授業は双方向遠隔授業システムを使って実施しています。また、2年次、3年次には両大学合同での対面授業も行われます。小学校1種及び所属分野の教科を主とした中学校・高等学校1種の教員免許の取得を目指すことができます。学部全体では小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の全校種に対応した教員養成プログラムを整備し、多様な教育現場での活躍を視野に学修できる体制を整えています。プログラムにはこれらの教員免許を取得するための授業科目と教育実習等の教育実践科目があります。教育実践科目では附属学校での教育実習をはじめ学校現場での豊富な実践的活動が展開されています。共同教育学部ではこのプログラムで「宇大スタンダード」に定める汎用的能力と専門分野に関する知識・技能を獲得した学生に「学士（教育学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概要	学修に必要な能力や適性等
基盤教育科目	<p>学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。</p>	<p>高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。</p>
専門教育科目	<p>共同教育学部では、各種教員免許を取得するため、また、実践的指導力のある教員を養成するためのカリキュラムを構成しています。専門教育科目として、全ての学校種の教員としての基礎となる教育原論や教職論等の教育基礎科目、小学校の教科内容・指導法に関する授業科目、中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目があります。さらに、学校現場での子どもへの指導や関わりを通して実践力を高める教育実践科目を備えています。</p>	<p>教育基礎科目や小学校の教科内容・指導法に関する科目は、学部の全ての学生が受講します。群馬大学との遠隔授業が多く含まれます。知識を獲得するだけでなく、両大学の学生と共に学び合う意欲や姿勢が求められます。中学校・高等学校・特別支援学校の教員免許のための専門知識・技能や指導法の授業科目では、その教科や学校種の教員になるための強い興味や関心、教科の学力が必要です。教育実践科目では、児童・生徒や学校現場の教員と関わりながら学ぶ意思、使命を持ってやり抜く意欲や態度が求められます。</p>

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

「教師」という職業への興味・関心を高めてください。探究活動などで教師の仕事や使命について調べ、省察してみるのも良いでしょう。特定の教科の先生を目指す人は、その教科の知識・技能を磨き、より深く追究してください。教師という仕事の特性から、「人」に興味を持ち、人と関わり合うこと、身近なことから世界のことまで幅広く興味を持ち、視野を広げること、多様なジャンルの読書から学ぶことなども大切です。また、教師はこれからの教育を牽引する職業でもあります。課外活動など、正課の授業だけでは得られない新しい体験にも積極的に臨み、そこから学んだことをよく振り返りましょう。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- ① 高等学校における履修内容を理解し、教職をめざすために必要な基礎学力を身につけている人
 - ② 自己の考えを的確に表現し他者に伝えることができ、他者が表現する考えを受けとることができる人
 - ③ ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる人
 - ④ 「学ぶ」「教える」「育てる」「発達する」という行為・現象について関心があり、これらのことについて学習意欲のある人
 - ⑤ 様々な活動に主体的に取り組むことができると共に、他者と協働することができる人
 - ⑥ 教職を目指す明確な意思と情熱を有し、子どもの成長に関わることに喜びを感じられる人

(2) 入学者選抜の基本方針

一般選抜 (前期日程)	<p>大学入学共通テスト、及び個別学力検査等の結果を総合して各系ごとに選抜を行います。大学入学共通テストでは基礎学力を評価します。個別学力検査等では、教育人間科学系、人文社会系、自然科学系の3つの系で小論文と面接を、芸術・生活・健康系の中の音楽・美術・保健体育分野で実技検査と面接を、家政分野で小論文と面接を課します。面接では全ての系に共通して教職への関心や適性を問います。</p>
総合型選抜A (一般)	<p>教職に携わる意欲、子どもの発達と教育への関心、それぞれの学校種・教科の教育方法を学ぶために必要な基礎的知識、論理的思考力、表現力、主体性等を多面的・総合的に評価します。出願書類及び各分野で課す選抜方法を総合して選抜を実施します。</p>
学校推薦型選抜	<p>将来、栃木県の小学校教員として活躍することに強い希望と意思を持ち、小学校教員としての適性を有する人を選抜します。学校教育教員養成課程全体で一つの選抜を行います(※1)。出願書類と合わせて、面接及び小論文の試験を課します。</p>

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等		①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性等		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	☆☆☆					
		面接			☆☆	☆☆	☆☆☆	
		小論文※2	☆☆	☆☆	☆☆☆			
		実技検査※2	☆☆☆					
		出願書類(調査書)				○		
総合型選抜	A(一般)	出願書類(スポーツ活動調査書)※3	☆☆					
		講義レポート作成※4			☆☆☆			
		グループディスカッション※4				☆☆☆	☆☆	
		小論文※4	☆☆		☆☆☆			
		基礎能力試験※4	☆☆☆					
		実技検査等※4	☆☆☆					
		プレゼンテーション及び面接※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		面接※4	☆☆	☆☆☆		☆☆	☆	☆☆
		出願書類(調査書)				○		
		出願書類(志望理由書)				○		
学校推薦型選抜	一般	出願書類(受験者本人が記載する活動報告書等)※5		☆☆☆		☆		
		面接		☆☆		☆☆☆	☆	☆☆☆
		小論文	☆☆	☆☆	☆☆☆			
学校推薦型選抜	一般	出願書類(調査書)				○		
		出願書類(推薦書)				○		

※1 入学者の系・分野振り分けは入学時に本人の希望等により決定します。
 ※2 芸術・生活・健康系音楽分野、美術分野、保健体育分野では実技検査を課します。これら以外の分野では、小論文を課します。
 ※3 保健体育分野の選抜で課されます。
 ※4 総合型選抜A(一般)では各分野ごとに課す検査が異なります。詳細は各選抜の選抜方法を参照ください。
 ※5 教育分野、英語分野、理科分野、音楽分野及び保健体育分野の選抜で課されます。内容は、各分野ごとに異なります。
 (i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
 (ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの